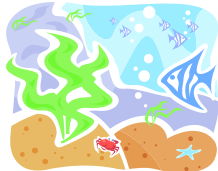


# 5. フッ素塗布の詳しいお話

## STEP 1

～フッ素とは～

- ・フッ素は海草やお茶などに含まれる天然成分なので、お口にいらしても安全です。
- ・新宿区でのフッ素塗布事業では、「2%リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液（第2法）」または「リン酸酸性フッ化ナトリウムゲル」を使用します。
- ・溶液やゲル、フォーム（泡）タイプが使用されます。



## STEP 2

～フッ素塗布の効果～

- ・フッ素塗布のむし歯予防効果は30～70%といわれています。
  - ・フッ化物塗布の効果は、「歯の構造を強くする」「歯の表面を修復する」「むし歯菌が酸を作るのを抑制する」「歯垢（細菌の塊）の形成を抑制する」などの働きがあります。
  - ・効果を最大限に引き出すためには、「同じ歯に間隔をあけて2回以上塗布する」「半年に1回、継続的に塗布する」ことが良いとされています。
- 新宿区では、年（年度）に2回の塗布が出来るよう、券を2枚送付しています。



## STEP 3

～フッ素塗布の安全性～

- ・誤って大量のフッ素を一時的に摂取した場合には「急性中毒」をおこす場合があります。
- ・新宿区のフッ素塗布事業では、薬剤（フッ化物溶液・ゲル・フォーム）の使用量を定め、適正に行うため、急性中毒の心配はありません。



## STEP 5

～塗布後は～

**最低30分間、飲食しないようにします。**  
唾液がたまったら、吐き出させてあげてください。  
(飲み込んでも問題はありません)



## STEP 4

～フッ素塗布の方法～

- ①フッ素塗布についての説明を受け同意する。
- ②歯の表面を清掃する（歯ブラシや器具）。
- ③ロール綿などで歯を防湿し、唾液が入らないようにしたり、薬剤の誤飲を防止したりする。
- ④綿での拭き取りや、空気での機械で、歯面を乾燥させる。
- ⑤フッ素溶液またはジェル、フォームを塗布する。  
塗布には、綿棒やピンセットにつままれた綿球や歯ブラシ、歯型のトレーが使用される。
- ⑥3分間、薬剤を浸潤させる。  
(子どもが3分間我慢できない場合は、1分間の短縮可)

